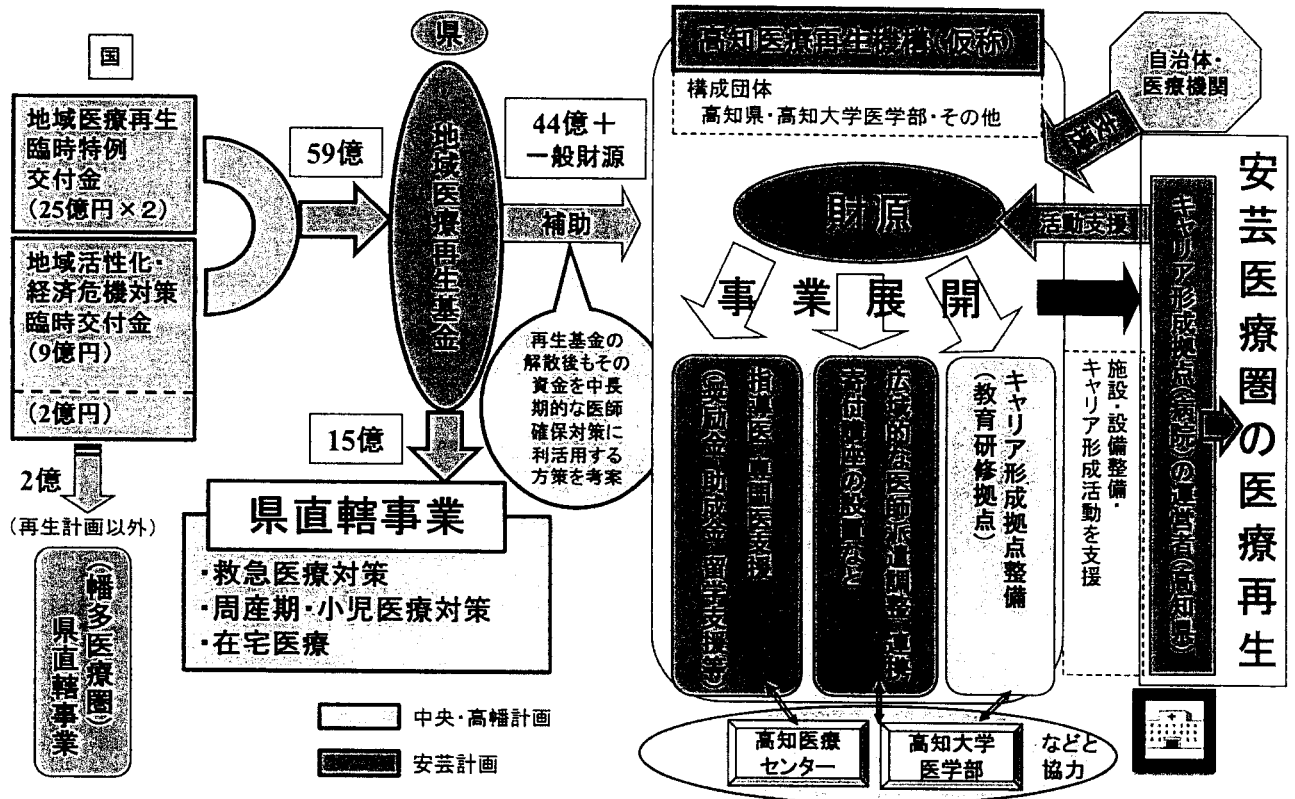
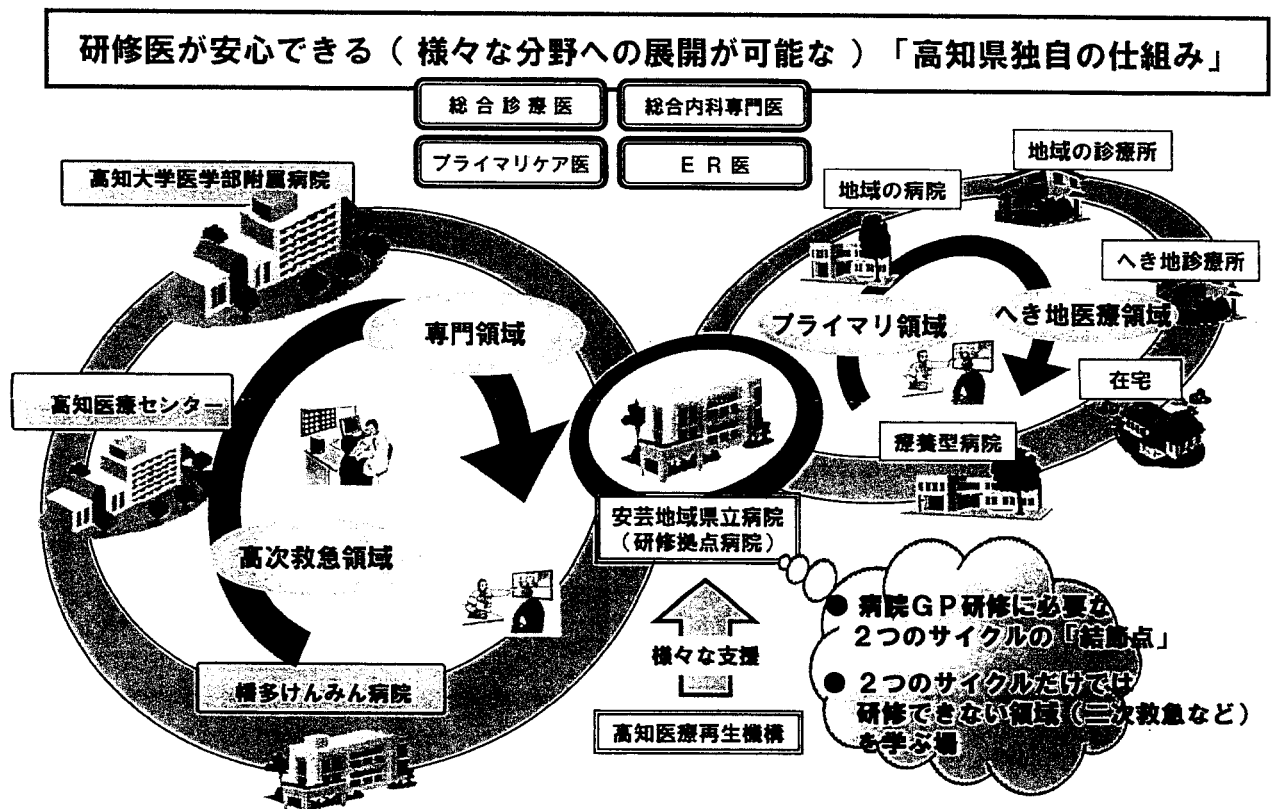


高知県地域医療再生計画（2計画と医師確保事業）

—「高知医療再生機構」(仮称)の創設と活動—



■ 高知県の「病院GP養成」の仕組み（若手医師が集まる仕組み）



高知県地域医療再生計画（中央・高幡医療圏）

県民の地域医療に対する理解・協力

再生計画で重点的に取り組む事業

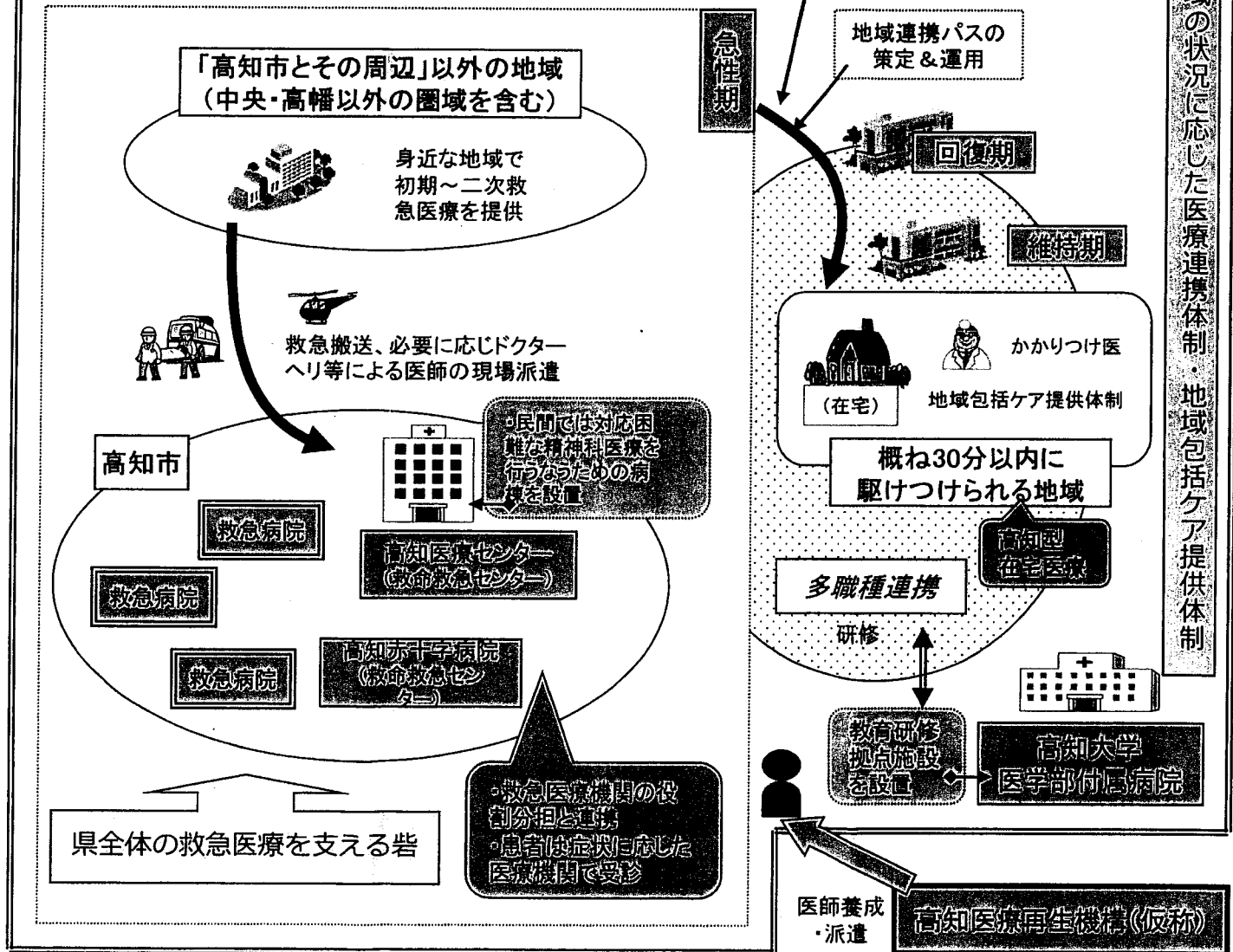
- 救急医療の確保
- 小児・周産期医療の確保
- 在宅医療の推進
- 医療連携体制の強化

現状

- > 医師の偏在（地域、診療科、年代）
- > 医療資源が県中央部への偏在
- > 郡部の基幹的医療機関の医師不足が進行し、地域で、救急医療をはじめとした医療が完結できない
- > 高知市及びその周辺の一部の医療機関に患者が集中
- > 救急患者の管外搬送、長時間搬送が増加
- > 軽症患者の救急医療の利用が多い
- > このまま医師が確保できなければ、小児科や周産期の医療提供体制は崩壊
- > 施設での医療や介護サービスに頼ってきており、増大する在宅医療のニーズに対応するための基盤が不十分
- > 中山間地域では過疎化、高齢化が進んでおり、医療ニーズの高い高齢者を地域で支える体制は不十分

実施後

小児・周産期医療は現状の体制を維持



福岡県地域医療再生計画実施事業について

全県事業

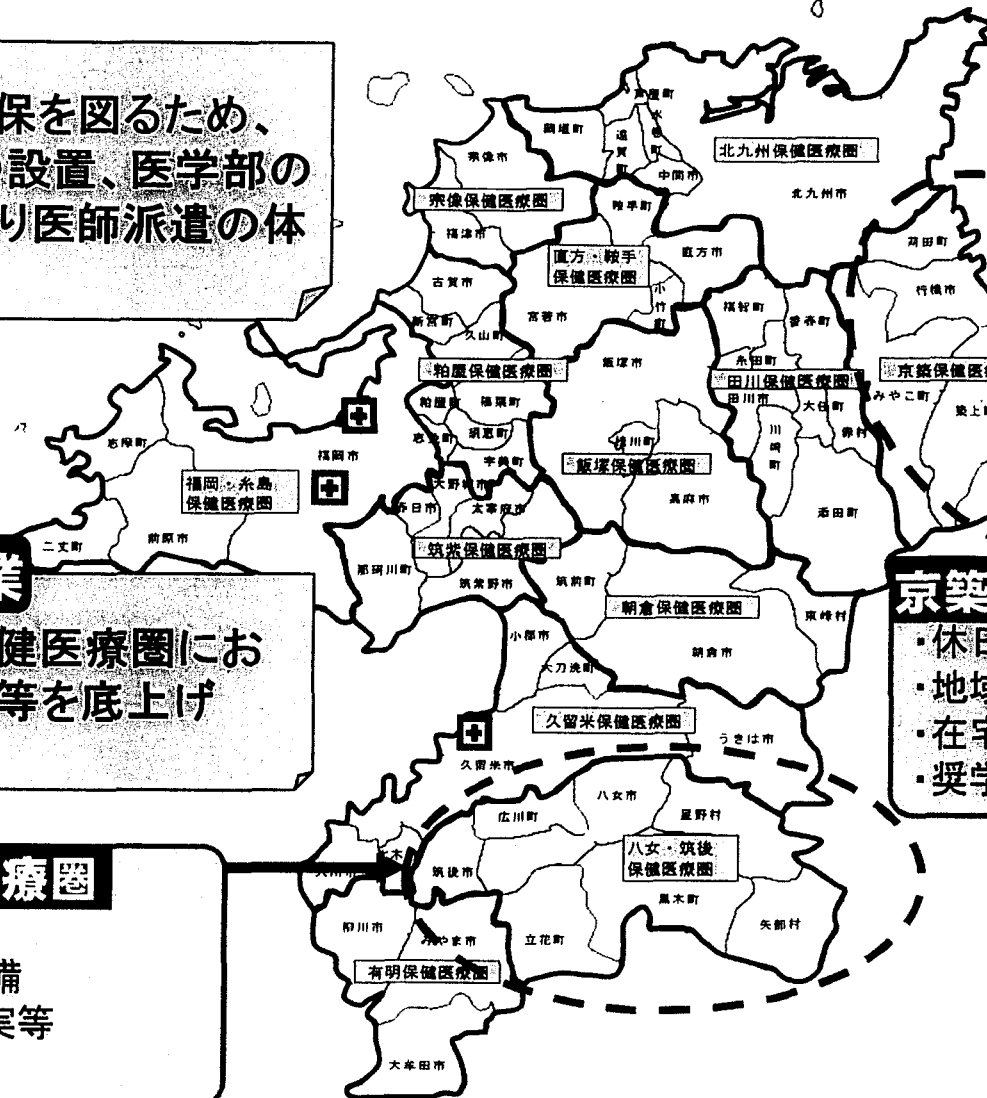
地域における医師確保を図るため、大学への寄附講座の設置、医学部の地域枠の設定等により医師派遣の体制を構築

二次保健医療圏事業

八女・筑後及び京築保健医療圏において、地域の医療体制等を底上げ

八女・筑後保健医療圏

- ・救急医療体制の整備
- ・周産期医療体制の整備
- ・へき地医療対策の充実等
- ・医療従事者確保対策

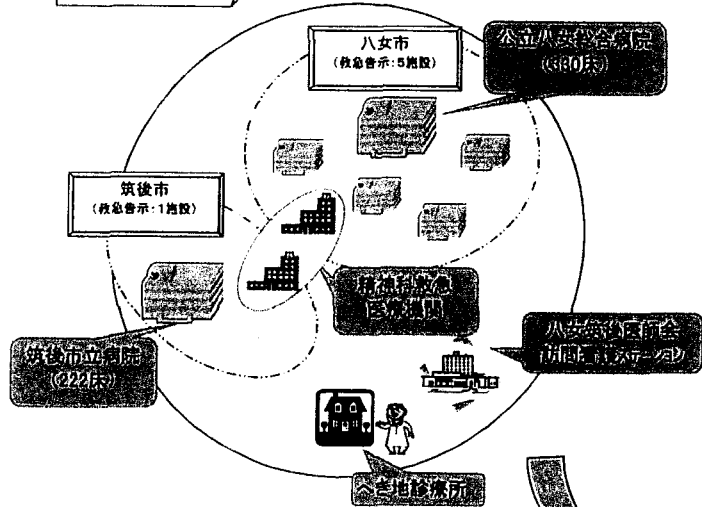


京築保健医療圏

- ・休日(夜間)急患センターの強化
- ・地域医療連携ネットワーク構築
- ・在宅医療強化
- ・奨学金制度等、看護師確保対策

福岡県地域医療再生計画概要(八女・筑後保健医療圏)

現状



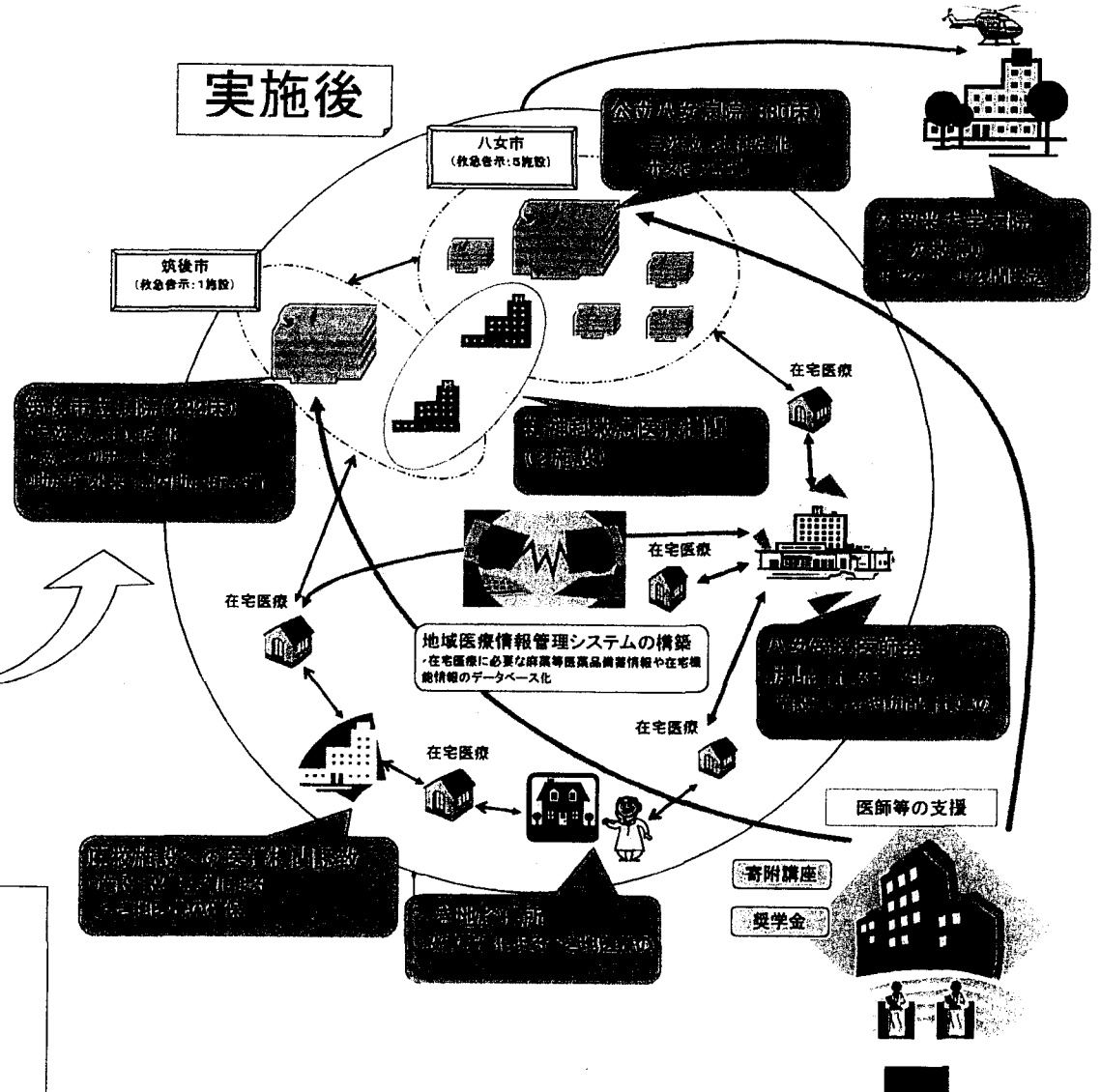
課題

- 地域の医療資源が不足している。
- 迅速な救急医療の提供に支障。
- 山間へき地の地理的要因等により地域住民の医療ニーズへの対応に支障

方策

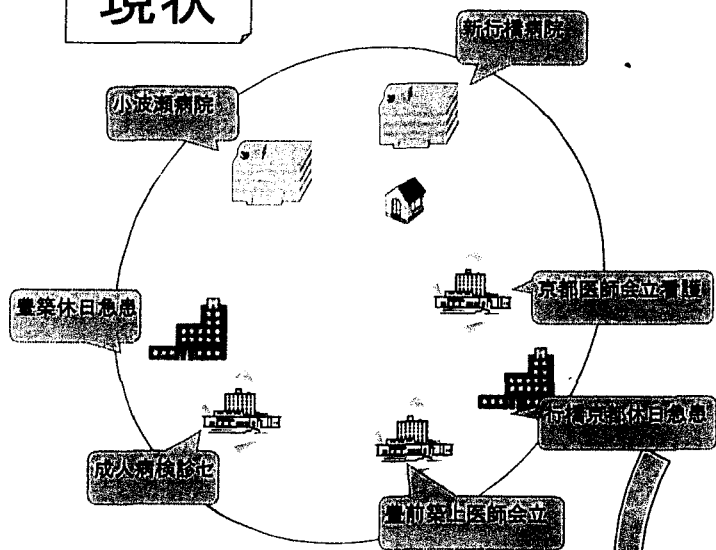
- 大学医学部寄附講座による医師派遣(全県事業)等
- 二次救急医療(災害医療含む)及び精神科救急医療のICU等の整備による機能強化等
- へき地診療所の設備整備等によるへき地医療の確保
- 訪問看護ステーションの施設・設備整備による医療・看護・介護サービスの確保
- 助産師外来・院内助産所の整備等による地域での分娩取扱

実施後



福岡県地域医療再生計画概要(京築保健医療圏)

現状



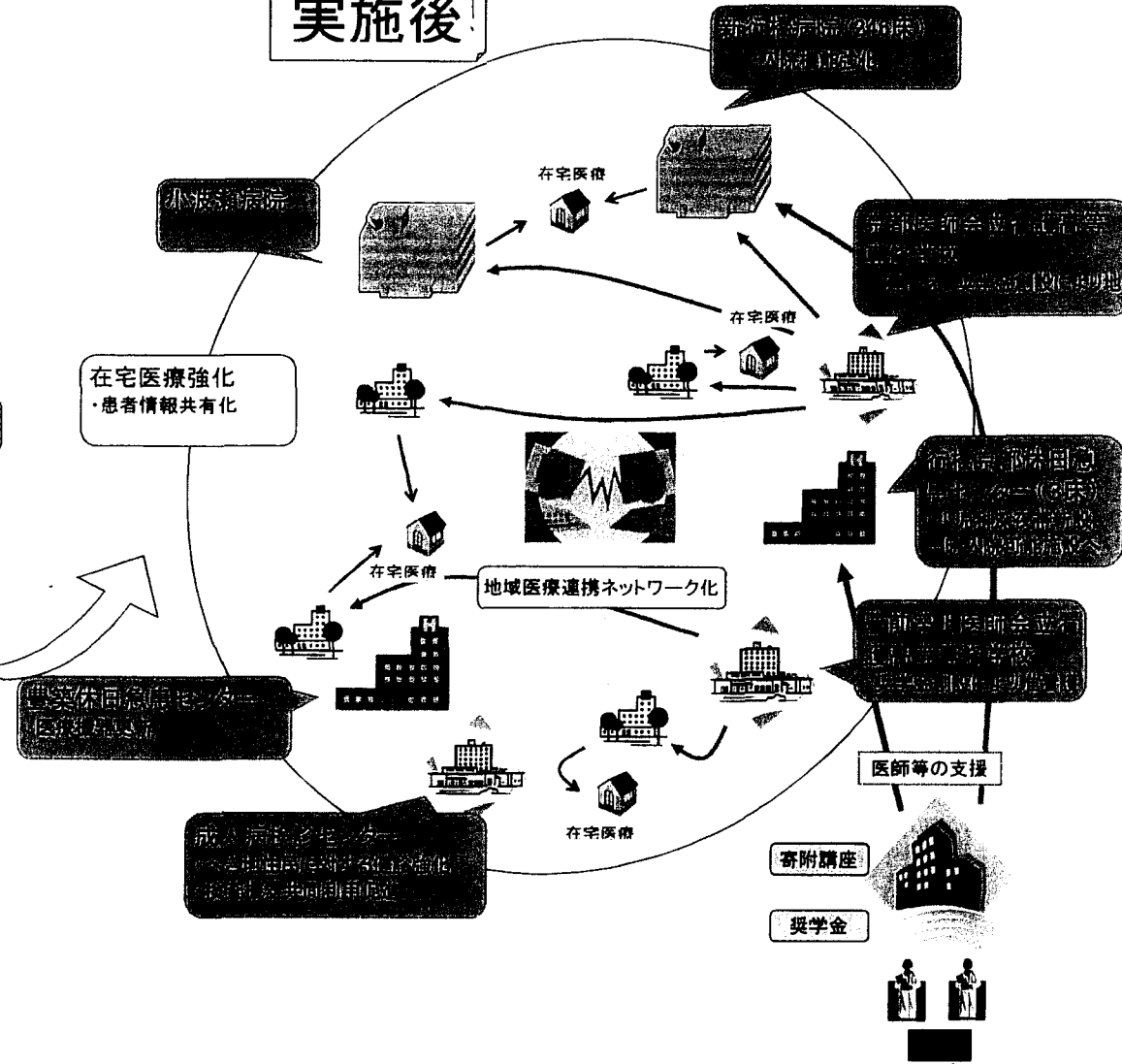
課題

- 地域の医療資源が不足している。
- 救急医療体制が手薄。
- 人材(准看護師等)が他地区への流出している。

方策

- 休日急患センターの強化
- 地域医療連携ネットワーク構築による連携体制強化
- 在宅医療の強化
- 奨学金制度による准看護師確保
- 大学医学部寄附講座による医師派遣(全県事業)

実施後



県全体事業【佐賀大学における寄附講座の開設① 総合内科医・小児救急医の育成】

地域医療機関に総合内科医充足



専門医取得

総合内科
専門医

腫瘍研修

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)血液内科 2日

当直

糖尿病研修

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)糖尿病内科 2日

当直

小児救急医充足

小児救急研修

救命救急センター

地域医療支援センター

- ・空床管理システムの開発と展開(病院内→病院間→移動中の救急車等)
- ・遠隔診断支援システムの導入
- ・診療録地域連携システムの活用



- ・指導医派遣
- ・大学での研修・手術
- ・研修中の代医派遣
- ・診療録地域連携システムによるサポート
- ・遠隔カンファレンスによるサポート
- ・eラーニングとポータルサイトによるキャリアサポート

大学から派遣中の医師

地域医療支援センター



助教

神経研修

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)神経内科 2日

当直

循環器研修

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)循環器内科 2日

当直

内視鏡研修

- ・地域医療機関 3日
- ・(大学)消化器内科 2日

当直

1st yr

コース修了生の地域定着義務化

- ・研修医の収入保証
- ・地域医療機関の人件費低減

専門医取得支援体制の強化